

桑野造船株式会社

〒520-0243 大津市堅田 1-21-2 TEL:077-573-8001 FAX:077-573-8002

URL: <http://www.k-boat.co.jp> E-mail: kuwano@k-boat.co.jp

私たち桑野造船は世界の有名メーカーのボートに負けない艇造りを目指しこしばらくはやってきました。なんとか動的性能では遜色のないレベルにきたと自負しています。しかし、国内メーカーとしてはこれだけでは今後は不十分であることに気づき、模索を始めだしております。つまり、艇造りへの理念の明確化、情報提供、サービス。その結果としてブランド力を付けることだと考えています。このコーナーは社長の古川が担当して書いてきました。BOAT TIMESは商品の宣伝ツールではなく、桑野の理念を進化させながら皆さんに訴えて行くことだと考えています。忌憚なきご指導よろしくお願いいたします。

桑野造船 会社目標

未来に向かって進化

- お客様にとって役に立つ桑野になるために -
- * ヨーロッパ艇を超える(性能・デザイン・価格)
- * 新分野へ挑戦(新技術開発・ニューローイング開拓)
- * 情報の共有(顧客との共有・社内共有で失敗に学ぶ)

艇が受ける抵抗

ボート競技は漕手が発揮したエネルギーで艇は推進します。艇が受ける抵抗との平衡で艇速が決定されるという極めて単純な物理的な現象です。しかも、艇が受ける抵抗の85%は水との摩擦抵抗です。漠然と捉まえられがちな抵抗を構成する要素を順位付けてみることを試みみました。これらは正確で定量的な数字ではありません。シングルスカルの1000m換算です。さらに選手の心理的要素も無視しました。でも選手とコーチにとって冷めた観察も大切なことです。参考にして頂けると幸いです。

艇速を遅くする要因

(影響度合い)

艇速を速める要因

・逆風3m

・横風3m

・水温20 下降

・過減速の大きい漕ぎ

・艇重量増加(飲料水、救命具)1.5kg

・大型の舵・フィン取り付け

・ハルの修理不良・汚れ

・メーカーの艇型の差

・スピードセンサー取付

大

(5~10秒以上)

中

(3~5秒)

小

(0~3秒)

・順風3m

・水温20 上昇

・軽量艇14kg

・小径オール

・ウイングリガー

・ハルの清掃、研磨



艇造りの現場から・・・【構造設計担当:香川】

艇作りのポイントは軽くて、剛性があり、強度が高い船体を作ることです。船体の基本構造は樹脂と繊維(カーボン、アラミド、ガラス)から成るFRPの間にハネカムを挟み込んだものです。このサンドウィッチ構造が大きな剛性と強度をもたらします。理想的なサンドウィッチを作るために造船所の現場ではいろいろと腐心しています。例えば、樹脂は手作業で塗りますが限られた時間にむらなく、艇重量が増加しないように完成重量から逆算して樹脂量をコントロールしないとイケません。少なすぎても艇が破壊してしまいます。繊維はある一定の方向しか強度を発揮しませんので繊維を貼る方向を決めて、曲がったりよじれたりしないようにする技術が重要です。さらに樹脂量のコントロールや繊維の貼り方の技術が向上すれば艇重量に余裕ができます。その分、艇剛性をさらに向上させるように使用材料を振り分けることができ、性能向上に寄与させることができます。このように限りない製造技術向上に励んでおります。

(参考)このFRP製造における樹脂コントロール技術を不要にしたのがプリプレグ繊維です。繊維生産工場ですべて機械で精密に樹脂を含ませたものを言います。プリプレグ繊維使いの艇は高剛性、超軽量がうりです。この艇の販売も4月からはじめました。

CONCEPT2 より新型ブレード発売!

CONCEPT2より、改良を加えた新型ブレードが2種類発売されました。デザインも一新!

より水をとらえやすく、ミスオールのしにくい「Fat Smoothie Blade」

ブレードの改良により、アウトボードの長さも6cm短縮。操作性も一段と良くなりました。

オール1本あたり約140g軽量化された「Super Ultralight Scull Oar」

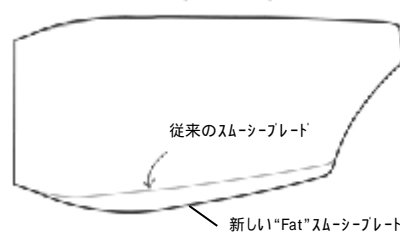
オールの軽量化によって、ハイレートで漕ぎやすくなるため、軽量級選手により有効です。

ただし、慣れるまでにバランスがとりにくいことがあります。

コンセプトオールにおきましては、仕様種類の幅が多いため大半が受注生産になります。

必要時期に合わせて、お早めのご購入手配をされることをお勧めいたします。

"Fat" 2546 Smoothie Scull



BOAT TIMESの配信停止をご希望される方は、お手数ですがFAX (077-573-8002)又はE-Mail (kuwano@k-boat.co.jp)で当社までご連絡下さい。また、ご意見・ご感想などもお待ちしております。

お手数ですがボート関係者へお渡しをお願いいたします。